

Crossroads



《公立受検校合格を目指して》

私立一般入試が終わり、結果が届きました。合格通知を手にした時の喜びは大きかったことでしょう。日頃の頑張りが発揮され、多くの方が合格通知を手にししました。約1か月後の公立一般入試にもこの雰囲気をつなげていきたいものです。

個人懇談会では、公立受検校をどこにするのか、前納金の手続きをする私立高校はどこにするのか、悩む姿も見られました。大切な進路ですから、ご家庭でも共通理解を図っていただきたいと思います。

進路説明会等でもお伝えした通り、公立一般入試は私立一般入試以上に競争率が激しいものとなります。家庭での学習時間を増やすことはもちろん、残り少ない授業も大切にしてください。第一志望校合格を目指して精一杯取り組みましょう。



《私立高校の入学金の一部（前納金）手続きについて》

合格した私立・専修学校の中から最も進学意思のある学校への手続きを進めていただきます。期日を過ぎると合格が取り消しになってしまいますので、合否通知と一緒に同封されていた書類で納入期日を確認し、確実に振り込みを済ませてください。

【私立推薦合格者報告】※仲間へのメッセージ・進路決定までの感想を一部抜粋

- ・合格できなかつたらどうしようと不安に思うこともあったけど、今まで勉強してきた自分を信じて当日臨んだ方が良いと思う。
- ・肩に力が入りすぎるとうまくいかないから、リラックスして頑張ってください。
- ・当日の雰囲気はピリピリしていて、皆さんぎりぎりまで全力で勉強していました。国・数・英に絞って過去問の出題のされ方を研究した。
- ・試験の時は意外と緊張するので、落ち着くことが大切。
- ・迷っている高校があって、その時ものすごく悩みました。先輩・先生・親に相談して泣いた日もありました。でも周りの支えがあり、目標に向かって頑張ろうと思いました。
- ・成績を下げてしまい、受かるか不安だったけど、携帯もさわらず、あきらめず勉強した。
- ・学力だけで選んで行くよりは、やりたいことができる学校にしよう決め、そこからは目標に向かって頑張った。